

事業用太陽光発電のFIT制度終了へ

◆政府が事業用太陽光などの固定価格買い取り制度終了方針

2019年8月、経済産業省は事業用太陽光発電や風力発電の電力を、大手電力会社が固定価格で買い取る制度（FIT）を終了し、新規認定分から別の制度に移行する案をまとめた。20年にも関連法案の改正を目指している。12年施行のFIT法には10年後には抜本的に見直すという条項があり、それに沿うものだ。

表1は19年度の電力買い取り費用だが、約3.6兆円で、電気料金に上乗せされる賦課金は約2.4兆円にのぼる。これは標準的な家庭で年間約9千円の負担になる。最も金額が大きいのは事業用太陽光発電だが、中でも12年から14年の認定分がおよそ60%を占めている。事業用発電のFITの期間は20年のため、これがあと十数年継続するが、新規認定分の負担をいかに抑えるかが課題だ。

表1 19年電力買い取り金額（出典；経産省資料などをもとにARC作成）

		買取額（兆円）	比率（%）	買取価格（円/kW h）
住宅用太陽光発電（10kW 未満）		0.2	5.6	
事業用太陽光発電	2012年度認定	0.8	22.5	40+ 税
	2013年度認定	1.0	28.1	36+ 税
	2014年度認定	0.4	11.3	32+ 税
	2015年度認定	0.1	2.8	29+ 税
	2016年度認定	0.1	2.8	24+ 税
	2017年度認定	0.03	0.8	21+ 税（入札外）
	2018年度認定	0.03	0.8	18+ 税（入札外）
	2019年度認定	0.01	0.3	14+ 税（入札外）
事業用合計		2.47	69.6	
風力発電		0.1	2.8	36+ 税（洋上）
地熱発電		0.02	0.6	
小水力発電		0.06	1.7	
バイオマス発電		0.4	11.2	
移行認定分（半数が住宅用太陽光）		0.3	8.5	
全合計		3.55	100	

◆国民負担を減らすためのさまざまな施策も事業性はマイナスに

政府はこれまでも国民負担を減らすため買い取り額を下げる政策を実施してき

た。表1のように買い取り価格は年々下げられてきたが、これは太陽光パネルなどの価格が年々低下し、初期投資額が下がるためだ。一方、認定を受けても建設の時期の制限はなかったため、パネルの価格が下がるのを待ってから建設、あるいはその認定の権利を売買するという業者も現れた。そのため政府は16年8月から、認定後3年以内に運転を開始しなければ認定を取り消す新しい制度を始めた。

また、2,000kW（2MW）以上の規模のメガソーラについては、17年より入札制度を導入し、一定電力量までを安い順に購入することで金額を抑える。18年度の入札では最低価格が14.25円/kWhになり、入札外の18円よりもかなり下がり、一定の効果はあった。19年度は入札対象が500kW以上への拡大が決まっている。

◆再エネ導入目標の達成への道筋、洋上風力への期待

政府の再エネ導入の目標は30年で水力を含み22～24%だが、30年の目標に対し、太陽光は18年末で既に76%を達成している。事業用発電は、20年固定というまみで急速に拡大したが、FITの終了で事業性は低下する。また最近ではメガソーラの適地が少なくなり、建設反対運動や、地方自治体の条例でさまざまな規

表2 再エネ海域利用法の従来法との比較（出典；経産省）

	港湾法	再エネ海域利用法
基本方針	—	政府が策定
対象区域	港湾区域内の水域等	一般海域のうち経済産業大臣及び国土交通大臣が指定する区域
対象施設	長期にわたり水域等を占有する公共の利益の増進を図る上で有効と認められる施設等（洋上風力発電施設等）	長期にわたり海域を占有する海洋再生可能エネルギー発電設備
協議会の組織	—	経済産業大臣、国土交通大臣及び都道府県知事
公募占用指針の策定 公募占用計画の選定・認定	港湾管理者	経済産業大臣及び国土交通大臣 ※価格も含む総合評価により選定
基地港湾	—	公募占用指針等に規定
認定(占用許可)の期間	最大20年	最大30年
FIT法との関係	— (事業者は占用許可を得た後にFIT認定の申請)	事業者は、公募占用計画の内容に基づきFIT認定を申請 ※選定事業者はFIT法の落札者とみなす
占用許可	港湾管理者	国土交通大臣

制の動きもある。一方で今後いかなるシナリオで再エネ導入目標を達成するかだが、目標に対する達成率が低いのは風力発電で、18年末で37%にとどま

る。世界的にも日本は風力発電の比率が少ない。理由は港湾法や漁業者との権利関係の複雑さも要因の一つで、再エネ海域利用法が19年4月に施行されるなど環境整備がなされている（表2）。FRPなどの樹脂も広く使われるなど素材メーカーにとっても大きなビジネスチャンスになるだろう。

【松田英樹】